

環境経済・政策学会

1998年大会 プログラム

1998年 9月 26日(土) 9時30分～17時30分
27日(日) 9時30分～17時15分

於 慶應義塾大学

主催 環境経済・政策学会

協賛 慶應義塾大学環境プロジェクト

9月26日	9:30～12:30 廃棄物・リサイクルと環境政策(1)	519番教室 アジアの環境問題(1) 1-1～1-5	527番教室 地球温暖化対策(1) 2-1～2-5	528番教室 環境評価と環境資源勘定(1) 3-1～3-4	512番教室 環境政策諸手法の比較・評価(1) 4-1～4-5	513番教室 環境行政・法・市場(1) 5-1～5-5	515番教室 環境保全意識・行動(1) 6-1～6-5	516番教室 環境保全意識(1) 7-1～7-4	522番教室 産業界の環境保全活動(1) 8-1～8-4	514番教室 国際環境協力 9-1～9-5
	13:30～16:30 廃棄物・リサイクルと環境政策(2)	アジアの環境問題(2) 1-6～1-10	地球温暖化対策(2) 2-6～2-10	環境評価と環境資源勘定(2) 3-5～3-9	環境政策諸手法の比較・評価(2) 4-6～4-10	環境行政・法・市場(2) 5-6～5-10	環境保全意識・行動(2) 6-6～6-10	環境保全意識(2) 7-5～7-9	産業界の環境保全活動(2) 8-5～8-9	自由論題(1) II-1～II-5
	16:35～17:30	会員総会(517番教室)								
	18:15～20:00	懇親会(新高輪プリンスホテル3F「天平」)								
9月27日	9:30～12:30 廃棄物・リサイクルと環境政策(3)	アジアの環境問題(3) 1-11～1-15	地球温暖化対策(3) 2-11～2-15	環境評価と環境資源勘定(3) 3-10～3-14	貿易と環境問題 4-11～4-15	食糧資源問題 10-1～10-4	自由論題(2) 11-1～11-4	自由論題(2) II-6～II-10	III-1～III-5	英語セッション
	13:30～17:15	特別講演・シンポジウム(518番ホール)								

9月26日(土) 午前の部 9:30-12:30

(各セッション1報告あたり、報告20分、討議5分、質疑応答5分)

1. 廃棄物・リサイクルと環境政策(1)	座長:植田 和弘(京都大学)	519番教室	
タイトル	報告者	所属	討論者
1 廃棄物循環の線形経済モデル	中村 慎一郎	早稲田大学政治経済学部	鷲田 豊明
2 リサイクルを考慮した他部門経済モデルによる環境産業の効果分析	京極 純平 ○	東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻	藤村 宏幸 (株)荏原製作所
	増井 利彦	国立環境研究所	
	森田 恒幸	国立環境研究所	
3 リサイクリングの外部性と経済的手法の最適な組み合わせ	小出 秀雄	一橋大学大学院経済学研究科	細田 衛士
4 リサイクル資源価格のモデル分析	笹尾 俊明	神戸大学大学院	松波 淳也
5 廃棄物量に影響を与える要因の分析とリサイクル政策の効果	神崎 広史	千葉市役所	寄本 勝美
2. アジアの環境問題(1)	座長:寺西 俊一(一橋大学)	527番教室	
タイトル	報告者	討論者	
1 CGEモデルによる中国の大気汚染問題のシミュレーション分析	黄 愛珍	京都大学大学院経済学研究科	藤川 清史
2 三峡ダム開発について	後藤 安子	関西大学	孟 若燕
3 中国山西省陽泉市の環境問題と対策	林 希一郎	(株)三委総合研究所	明日香 寿川
4 中国の郷鎮企業における環境問題と環境対策の現状	竹歳 一紀 ○	桃山学院大学経済学部	寺出 道雄
5 中国の経済特区 - 深圳市[市]の環境状況及びその対策	荒山 裕行 白雪梅 常 沙 井村 秀文	名古屋大学経済学部 (財)地球環境戦略研究機関	李 志東
3. 地球温暖化対策(1)	座長:森田 恒幸(国立環境研究所)	528番教室	
タイトル	報告者	討論者	
1 温室効果ガス削減のアディショナリティー	新澤 秀則	神戸商科大学経済研究所	松尾 直樹
2 地球温暖化問題に対する日本の意思決定 - 1990年と1997年の比較分析	川島 康子	国立環境研究所	我妻 伸彦
3 地球温暖化国内対策と温暖化防止アセスメント	山村 恒年	関西学院大学	北村 喜宣
4 気候変動問題における科学的知見と政策決定との相互作用	松尾 直樹	(財)地球環境戦略研究機関	小林 光
4. 環境評価と環境資源勘定(1)	座長:北畠 能房(京都大学大学院)	512番教室	
タイトル	報告者	討論者	
1 Comparative Risk Assessmentにおける「影響の行き着く先」の検討	松橋 啓介 ○	国立環境研究所	池田 三郎
2 日本のNAMEA:環境勘定を含む国民経済計算マトリックス	寺園 淳 森口 祐一 池 俊廣	経済企画庁経済研究所	有吉 篤敏
3 環境アセスメントと環境の社会経済的評価	鷲田 豊明	神戸大学経済学部	大島 康行
4 Sustainable consumption, sustainable development and Green NNP	大沼 あゆみ	東京外国语大学	赤尾 健一
5 地域環境経済統合勘定の作成 - 北海道における試算 -	林 岳 ○ 山本 充 出村 克彦	北海道大学大学院 小樽商科大学経済学部 北海道大学農学部	増田 信彦
5. 環境政策手法の比較・評価(1)	座長:和気 洋子(慶應義塾大学)	513番教室	
タイトル	報告者	討論者	
1 オランダ排水課徴金はなぜ「成功」したか -ドイツ排水課諸富 徹徴金との比較-	諸富 徹	横浜国立大学経済学部	山本 秀一
2 オランダ排水課徴金の現実と評価	岡 敏弘	福井県立大学経済学部	倉阪 秀史
3 日本の財政投融資と環境補助金 - 財政投融資による金融助成プログラムの実態分析 -	李 秀徹	京都大学大学院経済学研究科	横山 彰
4 日本の総量規制政策 - その経済的含意 -	伊藤 康	千葉商科大学	諸富 徹
5 持続可能な交通のあり方をめぐる環境コストの内部化の議論の展開について - EUの環境政策を題材として -	中村 徹 ○ 平塚 彰	大阪産業大学経営学部 大阪産業大学工学部	藤田 壮

6. 環境行政・法・市場(1)	座長:大塚 直(学習院大学)	515番教室	
タイトル	報告者	討論者	
1 取引費用論からみた環境政策－公害防止協定を素材に して－	松野 裕	明治大学経営学部	落合 仁司
2 契約論的アプローチによる環境政策の分析	竹内 審司	明治大学短期大学	林田 修
3 環境コストの配布と信用制度の関連について～米国スー久富健治 バーファンド法を手がかりに～	久富 健治	神戸山手女子短期大学環境文化研究所	柳 憲一郎
4 公害裁判と費用便益分析	岸本 充生	資源環境技術総合研究所	林田 清明
5 環境法の補完的機能の比較研究	勝田 悟	(社)環境情報科学センター	奥 真美
7. 環境保全意識・行動(1)	座長:川本 隆史(東北大学)	516番教室	
タイトル	報告者	討論者	
1 環境倫理思想の日本の展開	河野 二郎	早稲田大学エクステンションセンター	瀬田 信哉
2 地球環境問題をめぐるドイツ消費者の意識と行動	鈴木 清三 ○ 新村 保子 桂川 孝子 清水 裕之 加藤 三郎 青柳 みどり	住友生命総合研究所	古沢 広祐
3 調査依頼の承諾・不承諾と環境パフォーマンス評価との 相関に関する研究	早瀬 光司 ○ 井山 慶信 鄭 桓持	広島大学大学院生物圏科学研 究科	桂川 孝子
4 CVMの倫理と論理の問題－その市場認識の検討	大山 明男	大阪市立大学大学院経済学研 究科	鈴村 輝太郎
8. 産業界の環境保全活動(1)	座長:小幡 篤雄(立命館大学)	522番教室	
タイトル	報告者	討論者	
1 企業の環境政策における環境部門の役割	山田 修嗣	中央大学	後藤 敏彦
2 新規産業としての環境産業の異業種間競争ダイナミクス	玄場 公規 ○ 平瀬 実	三和総合研究所	今関 隆志
3 紙パルプ産業における環境保全活動	鈴木 茂	松山大学経済学部	藤井 美文
4 環境報告書のベンチマークについて－「グリーンコン シューマーと環境報告書」調査結果より	角田 季美枝	グリーンリポーティング・フォーラム 國部 克彦	神戸大学経営学部
9. 國際環境協力	座長:山口 光恒(慶應義塾大学)	514番教室	
タイトル	報告者	討論者	
1 北東アジアの酸性雨問題 最適補助金率と排出削減技術 の費用低減政策	中田 実	(財)地球環境戦略研究機関	渡辺 幹彦
2 國際環境プロジェクトの社会的評価：日本のタイへの環 境協力を中心に	松岡 俊二 ○ 白川 浩 岡田 博己	広島大学大学院国際協力研究科	後藤 一美
3 野生生物及びその生息環境の保護と地域経済開発	蘇 雲山	イカリ環境事業グループ環境科 学センター	河合 明宣
4 ベトナム国ハロン湾における環境管理計画の在り方に ついて	苦瀬 雅仁 ○ 櫻岡 裕之 齊藤 克義	環境庁企画調整局 環境庁 JICA	長谷部 勇一
5 中国の環境問題と日本の役割	王 森柱	大阪大学経済研究科	稻田 義久
・昼食 12:30-13:30			
9月26日(土)午後の部 13:30-16:30	(各セッション1報告あたり、報告20分、討議5分、質疑応答5分)		
1. 廃棄物・リサイクルと環境政策(2)	座長:郡寫 孝(同志社大学)	519番教室	
タイトル	報告者	討論者	
6 バージンタックスの含意とシミュレーション－紙のリサイク ルを例に－	瀬尾 佳美 ○ 池田 三郎	筑波大学大学院社会工学研究科 中村 慎一郎	早稲田大学政治経済学部
7 鉛とカドミウムのマテリアルフローからみた製品リサイクル	鈴木 靖文 ○ 高月 純 酒井 伸一	京都大学環境保全センター	吉田 登
8 東京都の事業系一般廃棄物の産業連関分析	大平 純彦 ○ 庄田 安豊 木村 富美子 占部 武生	静岡県立大学 大妻女子大学 創価大学 東京都清掃研究所	池田 明由
9 廃棄物処理有料化政策の便益評価：千葉県野田市に おける事例研究	藤本 順也 ○ 安田 八十五 大島 克也 畠 明郎	筑波大学社会工学系	植田 和弘
10 ドイツの廃棄物リサイクルとファクター10			京都大学経済学部
			寺西 俊一
			一橋大学経済学部

2. アジアの環境問題(2)	座長:落合 仁司(同志社大学)		527番教室
タイトル	報告者	討論者	
6 中国の産業構造変化と環境	任 文	京都大学大学院経済学研究科	周生
7 鉄鋼業における日中技術移転の環境負荷分析	孟 若燕 ○	慶應義塾大学商学部	後藤 則行
8 「開発主義」と産業公害	和氣 洋子	慶應義塾大学商学部	
9 アジアの公害防止技術と「後発者の利益」	寺尾 忠能	日本貿易振興会アジア経済研究	後藤 安子
10 東南アジアにおける持続可能な都市形成と宗教	野上 裕生	所	所
		日本貿易振興会アジア経済研究	広島大学大学院国際協力研究科
	小島 宏	国立社会保障・人口問題研究所	野上 裕生
			日本貿易振興会アジア経済研究所
3. 地球温暖化対策(2)	座長:伴 金美(大阪大学経済学部)		528番教室
タイトル	報告者	討論者	
5 Real Option Model による二酸化炭素排出権価格分析	辻村 元男	大阪大学大学院経済学研究科	森田 恒幸
6 国内排出権取引制度の割当における課題	松尾 直樹	(財)地球環境戦略研究機関	秋田 次郎
7 SO ₂ 排出権取引とCO ₂ 排出権取引(仮題)	浜本 光紹	(財)地球環境戦略研究機関	浜岡 泰介
8 地球温暖化対策 : 日本 vs スウェーデン	小沢 徳太郎	環境問題スペシャリスト	浜本 光紹
9 途上国のCO ₂ 削減効果の統合評価 - 中国のエネルギー政策のインパクト	周生 ○	(財)地球環境産業技術研究機構	外岡 豊
	黒沢 厚志		
	八木田 浩史		
	柳沢 幸雄		
	時松 宏治		
4. 環境評価と環境資源勘定(2)	座長:薰 祥哲(南山大学)		512番教室
タイトル	報告者	討論者	
6 東京湾油流出事故の湾岸生態系への影響 -コンジョイント分析による評価-	栗山 浩一 ○	北海道大学農学部森林科学科	北畠 能房
	竹内 慶司	明治大学短期大学	京都大学大学院人間・環境学研究科
	鷲田 豊明	神戸大学経済学部	
7 流域水環境の生物多様性の経済評価	寺脇 拓	神戸大学大学院自然科学研究科	吉田 謙太郎
8 CVMによる砂浜の経済評価	舟木 賢徳	(株)ダイナックス都市環境研究所	矢部 光保
9 CVMによる非利用価値の評価とその信頼性 -世界自然遺産「屋久島」の事例研究-	栗山 浩一 ○	北海道大学農学部森林科学科	竹内 慶司
	北畠 能房		
	大島 康行		
10 CVM評価額の政策的解釈 -税再配分と特別税の比較- 矢部 光保 ○	J.C.バーグストローム K.J.ボイル	農林水産省農業総合研究所	栗山 浩一
			北海道大学農学部
5. 環境政策諸手法の比較・評価(2)	座長:倉阪 秀史(千葉大学)		513番教室
タイトル	報告者	討論者	
6 家計による自動車走行の地域別特性分析と価格政策	鎌田 志保子	一橋大学経済学研究科	永井 進
7 グリーン電力制度に関する研究	飯田 哲也 ○	東京大学先端科学技術研究センター	山地 憲治
	大久保 彩子		東京大学大学院工学系研究科
	石井 敦		
	歌川 学		
	花木 啓祐		
8 廃棄物コンプリクトのマネージメント手法としての社会環境 土屋 雄一郎 アセスメント = 長野県下伊那郡阿智村の事例から=	立命館大学大学院政策科学研究科	船橋 晴俊	法政大学社会学部
9 琵琶湖総合開発の検討	山本 香	神戸商科大学大学院	木村 康二
10 高度経済成長期における地方公共団体の大気汚染対策 藤倉 良	九州大学工学部環境システム科 研究センター	勝原 健	滋賀県琵琶湖研究所 東亜大学法学部
6. 環境行政・法・市場(2)	座長:淡路 刚久(立教大学)		515番教室
タイトル	報告者	討論者	
6 日米の大気環境基準のとりくみの比較(仮題)	村上 京穂子	東京工業大学社会理工学研究科社会工学専攻	西久保 裕彦
7 地方自治体による環境マネジメントシステム構築の現状と課題 -英国と日本の事例-	伊藤 佳世	九州大学大学院比較社会文化研究科	矢部 浩祥
8 地球環境レジームの有効性に関する比較分析	阪口 功 ○ 後藤 則行	東京大学総合文化研究科	岩間 徹
9 環境保全協定(公害防止協定) : 地方自治体の環境政策と「参加」	堤 理恵	University of Cambridge	松野 裕
10 環境NGOの支援策の現状と課題	前田 秀	環境事業団	松岡 俊二
			広島大学大学院国際協力研究科

7. 環境保全意識・行動(2)		座長:鵜野 公郎(慶應義塾大学)		516番教室	
タイトル		報告者		討論者	
5 グリーンツーリズム推進による経済厚生変化に関する一考察	杉村 康明	(株)電通	梅井 礼	慶應義塾大学大学院経済学研究科	
6 中山間地域におけるエコツーリズムの役割～社会的環境情報伝達機能に着目して	藤山 浩〇 戸田 常一	広島大学大学院国際協力研究科	森下 研	エコマネジメント研究所	
7 こんな田舎に住みたい！都市と農村の協同による『美しい地域づくり』コンテスト	古藤田 香代子	(社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会	川島 康子	国立環境研究所	
8 公共性の視点からみた環境	家木 成夫	(社)日本プロジェクト産業協議会	山田 太門	慶應義塾大学経済学部	
9 環境観と経済システムの関係並びに世代間共鳴マトリック	稻葉 紀久雄	大阪経済大学	綿貫 礼子	フリーランスサイエンスライター	
ス社会					

8. 産業界の環境保全活動(2)		座長:井村 秀文(九州大学)		522番教室	
タイトル		報告者		討論者	
5 環境保全に向けた企業行動の実態とそのモデル化に関する基礎的研究	村岸 秀展〇	東京工業大学社会理工学研究科社会工学専攻	諸戸 孝明	伊藤忠商事株式会社	
6 ISO14001認証取得が企業の環境パフォーマンスに与える影響	森田 恒幸 寺園 淳〇 酒井 美里 森 保文 乙間 未廣	国立環境研究所 国立環境研究所	吉澤 正	筑波大学大学院経営・政策科学研究科	
7 環境マネジメントシステムと環境保全技術～(株)クボタを足立 辰雄事例に～	足立 辰雄	宮崎産業経営大学	玄場 公規	三和総合研究所	
8 企業における環境情報開示の現状と課題	佐々木 雅一〇 國部 克彦	資源リサイクルシステムセンター 神戸大学経営学部	倉阪 智子	環境監査研究会	
9 複数企業における環境パフォーマンス評価の継続調査	井山 廉信〇 鄭 恒博 早瀬 光司	広島大学大学院生物圏科学研究所	佐々木 雅一	資源リサイクルシステムセンター	

II. 自由論題(1)		座長:吉岡 完治(慶應義塾大学)		514番教室	
タイトル		報告者		討論者	
1 同一地域における複数計画の整合性に関するモデル分析	辻 稔郎	大阪国際大学大学院経営情報学研究科	仲上 健一	立命館大学政策科学部	
2 成長パスとしての環境クズネツ曲線	塩田 尚樹	松阪大学政治経済学部	藤田 康範	慶應義塾大学経済学部	
3 地域格差と環境汚染水準の関係についての考察	斎藤 崇	慶應義塾大学大学院経済学研究科	大沼 あゆみ	東京外国语大学	
4 コストパフォーマンスからみた最適経路について－システム・ダイナミクスによるモデル化－	竹原 明伸〇 平塚 彰 小川 恒一	大阪短期大学経営情報学科 大阪産業大学工学部 大阪府立大学総合科学部	見市 晃	追手門大学経営学部	
5 LCA的視点から観た鉄鋼製品利用のエネルギー評価：鉄鋼副産物の利用に関するエネルギー関係調査および鉄鋼での製鉄所上流環境負荷調査	倉地 和仁	住友金属工業(株)技術部	松橋 隆治	東京大学工学部	

・会員総会 16:35-17:30 517番教室
 ・懇親会 18:15-20:00 新高輪プリンスホテル3F「天平」

9月27日(日)午前の部 9:30-12:30		(各セッション1報告あたり、報告20分、討議5分、質疑応答5分)			
1. 廃棄物・リサイクルと環境政策(3)		座長:畠 明郎(大阪市立大学)			
タイトル		報告者		討論者	
11 回収の推進から再生の推進へ	山下 英俊〇 丸山 康司 羽生 和紀 岸野 洋久 酒井 伸一	東京大学大学院総合文化研究科 東京大学大学院総合文化研究科 日本大学文理学部 東京大学大学院総合文化研究科 京都大学環境保全センター	田中 勝	国立公衆衛生院	
12 ダイオキシン類制御のための環境政策的課題	川名 英之 田上 貴彦〇 西澤 栄一郎 合田 素行 両角 和夫	江戸川大学 科学技術振興事業団	酒井 伸一 杉本 義行	横浜国立大学環境科学研究中心 京都大学環境保全センター 成城大学	
13 日本とドイツのダイオキシン制御策の比較	小幡 篤雄〇	立命館大学政策科学部	早瀬 光司	広島大学大学院生物圏科学研究所	
14 有機性廃棄物堆肥化施設の動向	土屋 雄一郎 宮崎 浩成				
15 ゼロ・エミッഷン・プロジェクトのフィジビリティに関する産業生態的な考察					

2. アジアの環境問題(3)	座長:仲上 健一(立命館大学)		527番教室
タイトル	報告者	討論者	
11 地方自治体における環境管理能力の形成 -パンコクと大阪を中心として-	森 晶寿	滋賀大学	藤倉 良 九州大学工学部環境システム工学研究センター
12 タンカー油濁被害の補償制度と<環境基金>	大島 堅一	高崎経済大学経済学部	井口 俊明 東京海上火災保険株式会社
13 ロシアにおける体制転換と公害・環境問題の動向	徳永 昌弘	京都大学大学院経済学研究科	小島 宏 国立社会保障・人口問題研究所
14 台湾における環境教育政策(3)	萩原 豪	学習院大学大学院政治学研究科	阿部 治 埼玉大学教育学部
15 東アジアの環境政策の国際比較	原嶋 洋平	(財)地球環境戦略研究機関	寺尾 忠能 日本貿易振興会アジア経済研究所
3. 地球温暖化対策(3)	座長:山地 審治(東京大学大学院)		528番教室
タイトル	報告者	討論者	
10 共同実施問題の一般均衡フレームワーク分析	後藤 久美子	慶應義塾大学大学院経済学研究科	新熊 隆嘉 岐阜聖徳学園大学経済情報学部
11 排出権取引とCDMの複合効果	藤田 康範	慶應義塾大学経済学部	吉岡 忠昭 神奈川大学経済学部
12 アジア・太平洋地域における共同実施・クリーン開発メカニズム	李 熊妍	大阪市立大学大学院経済学研究科	稻田 義久 甲南大学経済学部
13 路面電車によるパークアンドライドと都市環境 -二酸化炭素排出削減と公共交通機関の役割-	小祝 延紀	法政大学大学院社会科学研究科経済学専攻	加藤 峰夫 横浜国立大学経済学部
14 費用負担ルールと環境産業の創出	栗原 史郎	一橋大学商学部	薰 祥哲 南山大学経営学部
4. 環境評価と環境資源勘定(3)	座長:栗山 浩一(北海道大学)		512番教室
タイトル	報告者	討論者	
11 都市公園の環境価値に関する研究	小板橋 敏明 ○ 内山 久雄 田口 敬之 森尾 淳	早稲田大学大学院アジア太平洋研究科国際関係学専攻	山本 充 小樽商科大学経済研究所
12 屋久島におけるレクリエーション価値の算出と評価 -トラベルコスト法と費用便益分析を用いて-	柴崎 茂光 ○ 永田 信	東京大学大学院農学生命科学研究科	舟木 賢徳 ダイナックス都市環境研究所
13 集合住宅における「ライフサイクル価値」(LCV)の提案	広松 康	生活価値創造住宅開発技術研究組合	池田 豊人 建設省
14 自由社会の持続的成長と社会的割引率(仮題)	藤堂 実明 ○ 野上 裕生	東京大学大学院経済学研究科	岸本 充生 資源環境技術総合研究所
15 タンカー油濁事故災害における<環境被害>と<環境公害>	除本 理史 スト>	日本貿易振興会アジア経済研究所	岡 敏弘 福井県立大学経済学部
10. 貿易と環境	座長:新澤 秀則(神戸商科大学)		513番教室
タイトル	報告者	討論者	
1 東南アジアの木材輸出規制が与えた影響に関する一考察	立花 敏	東京大学大学院農学生命科学研究科	島本 美保子 法政大学社会学部
2 WTOの環境政策	岩田 伸人	青山学院大学経営学部	山口 光恒 慶應義塾大学経済学部
3 環境と貿易に関する実証分析(仮題)	吉田 雅哉	(株)富士総合研究所	和氣 洋子 慶應義塾大学商学部
4 プロダクト/プロセス規制	久保田 泉	学習院大学大学院法学研究科 法律学専攻	伊東 慶四郎 政策科学研究所
11. 食糧資源問題	座長:深海 博明(慶應義塾大学)		515番教室
タイトル	報告者	討論者	
1 農産副産物としての食品副産物リサイクルシステムの開発と評価	塙原 昇 ○ 安田 八十五	筑波大学社会工学系	福岡 克也 立正大学経済学部
2 土地-エネルギー経済モデルを用いた食料問題と地球温暖化問題との相互関係に関する分析	中川 健太郎 ○ 高橋 淳 森田 恒幸 佐藤 公敏	東京工業大学社会理工学研究科社会工学専攻 国立環境研究所 国立環境研究所 亞細亞大学経済学部	中川 光弘 農林水産省農業総合研究所 杉村 康明 (株)電通
3 Non-Traceable Genetic Engineering-Biohazards Generated by Gene-Recombinant Groups : An Economic Analysis			
4 食料資源としてのリサイクルシステムの市場化と組織化 - 山本 太一 コンビニ業界の市場化とヤマギシ農協の組織化の比較	三重大生物資源学部	秋山 道雄	滋賀県立大学環境科学部

II. 自由論題(2)		座長:横山 彰(中央大学)	518番教室	
タイトル	報告者		討論者	
6 浜松市の環境産業 : (1995-1997年調査報告)	大森 正之	明治大学政治経済学部	伊藤 康	千葉商科大学
7 ガソリン需要の価格・所得弾力性と自動車依存度	兒山 真也	神戸商科大学国際商学科	水谷 洋一	静岡大学
8 家計消費によるエネルギー消費・CO ₂ 排出の分析 一月 菅 幹雄 次データを用いた分析一	菅 幹雄	東海大学教養学部生活学科	森口 祐一	国立環境研究所
9 資本制生産様式と人間自然・土地自然	梅垣 邦胤	下関市立大学経済学部	吉田 文和	北海道大学経済学部
10 CO ₂ 温暖化説の重大な欠陥-無意味で浪費ばかりの温 暖化対策-	槌田 敦	名城大学商学部	青山 貞一	株式会社環境総合研究所
III. 英語セッション		座長:川島 康子(国立環境研究所)	522番教室	
タイトル	報告者		討論者	
1 Environmental Governance in Asia	James E. Nickum	東京大学大学院国際社会科学 専攻	村上 朝子	ジャパン・タイムス
2 Comparative Analysis on Cost Effectiveness of AIJ Projects	渡辺 幹彦	さくら総合研究所環太平洋研究 センター	中田 実	地球環境戦略研究機関
3 Kenaf Utilization and NGO's Activities	新田 幸夫 坂上 雅治	(社)日本国際民間協力会 京都大学大学院	岡 裕泰	農林水産省森林総合研究所
4 A Cost-Benefit Analysis of Tokyo's Nitrogen Oxides Control Program	A. Scott Voorhees ○ 酒井 亮二 佐藤 元 荒記 俊一 細田 衛士	東京大学医学部公衆衛生学	James E. Nickum	東京大学大学院国際社会科学 専攻
5 Bads as Joint Products		慶應義塾大学経済学部	永田 信	東京大学農学部

複数の報告者がいる場合、当日の報告予定者に"○"が付けてある。

9月27日(日)午後の部

・特別講演 13:30-14:30 518番ホール

テーマ: 京都議定書と我が国の対応

講演者: 茅 陽一 (慶應義塾大学総合政策学部教授)

・シンポジウム 14:40-17:15 518番ホール

テーマ: 地球温暖化への取組ー京都議定書を受けてー

総合司会: 山口 光恒 (慶應義塾大学経済学部教授)

パネリスト: 浅岡 美恵 (気候ネットワーク事務局長)

内田 公三 (経済団体連合会事務総長)

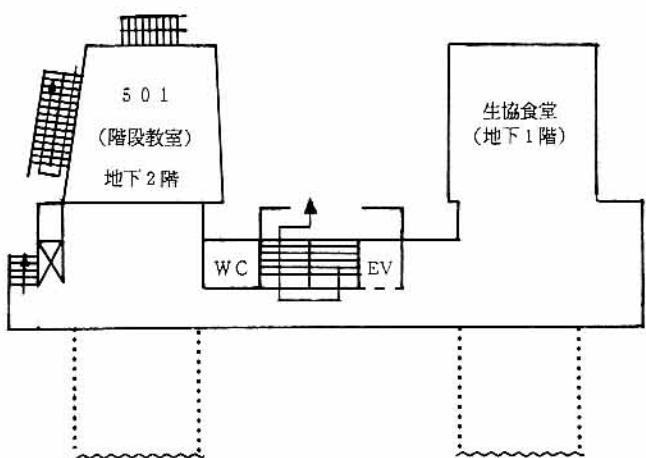
羽山 正孝 (通商産業省大臣官房審議官)

森島 昭夫 (上智大学法學部教授)

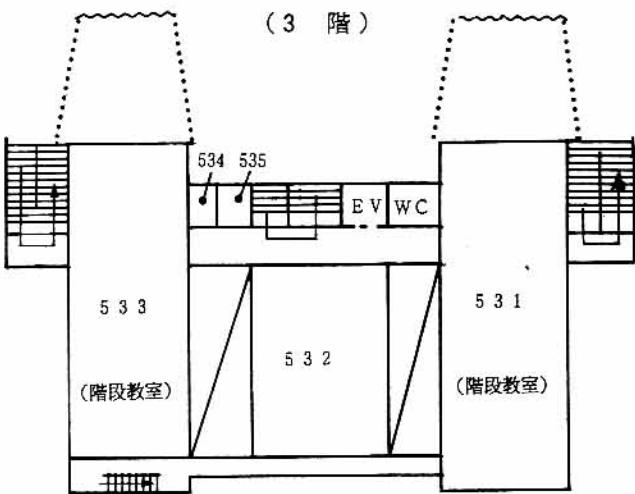
森田 恒幸 (国立環境研究所総合研究室)

西 校 舎

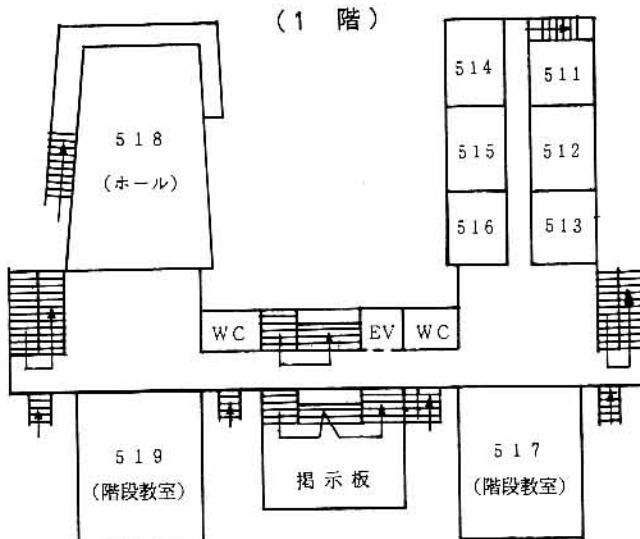
(地下1・2階)



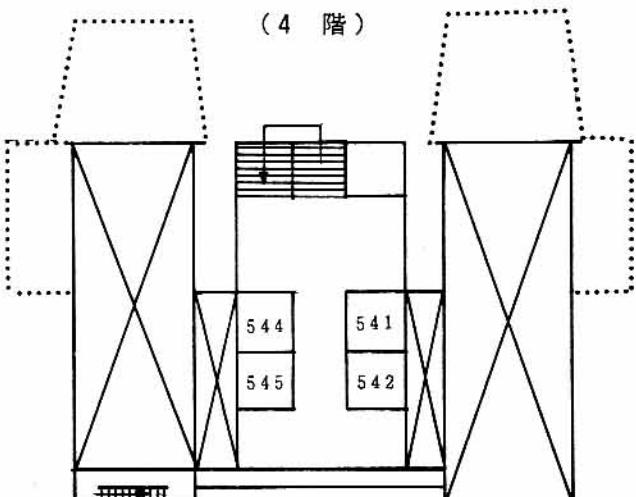
(3階)



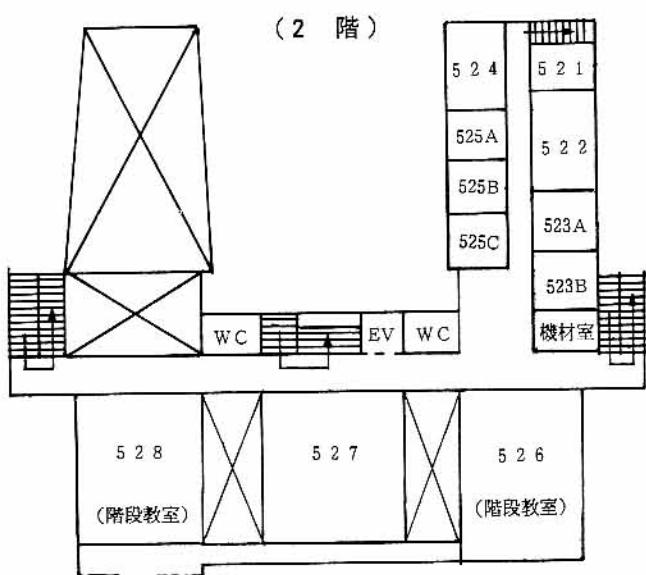
(1階)



(4階)



(2階)



大学三田校舎教室配置図

